

当総務委員会に付託された案件については、

9月9日は午前9時30分から、14日は午後1時30分から、

21日は午前9時30分から、いずれも委員会室において、

委員全員出席のもと、慎重審査しましたので、その経過と結果をご報告

申し上げます。

認定第1号中、当委員会に分割付託された案件については、補足説明の

後、質疑に入り、主な質疑として、

初めに、一般会計について申し上げます。

2款1項1目、人事管理事務について、

令和4年度、幼児教育士の退職者は27人、採用者は20人とあるが、

人材は確保できているのか。また、離職防止に向け、どのような取り組みをし

ているのか。とに対し、

例年より育児休業から復帰する職員が多いため、職員は充足しています。

退職理由は、「子育てと仕事の両立が難しい」など様々ですが離職防止の

ためのアンケート調査を実施し、課題の把握を行うとともに、各園に事務職の

会計年度任用職員を配置することで、主査の事務負担を軽減し、保育

現場での指導時間やフォロー体制の確保を図るなど、職場環境の改善に取り組んでいます。とのこと。

同日、職員給与福利厚生事業について、

精神疾患による病気休職者が増加したとのことだが、休職者を増やさないうように、どのように取り組んでいるのか。とに対し、

職員の変化に、いち早く気づくことが重要であると考え、職員には、ストレスチェックを実施しています。ストレスチェックの結果から、職員が自身のストレス状態に気付くことや、ストレスの対処方法を身に付けることの周知を推進しています。また、希望者には臨床心理士による面談を実施するとともに、昨年度からは、対面や電話相談の他に、パソコンやスマートフォンからの相談もできるように相談環境の改善を行いました。とのこと。

高ストレス者に対して、どのような対応をしているのか。とに対し、

高ストレスとなった職員のうち、希望者には医師による面談を実施しています。面談の結果、医療機関への受診が必要と判断された場合には、適切に医療機関に繋ぐとともに、職場に対する助言をいただいた際には、職場の環境改善を図るなどの対応をしています。とのこと。

同日、行政適正化事業について、新たに導入した「市長への^{イ-}e-レター」
制度では、どのような提案がなされ、仕事の改善に結びついたのか。とに対し、
政策提言や業務改善、職場での気づきや想いとして、96件の提案が
あり、夏場の公用車の室温抑制のためにサンシェードを積載することや、内容
が重複している庁内資料の様式を統一化する事務の効率化に繋がりました。
とのこと。

同項6目、シティプロモーション推進事業のうち、無料動画配信サービス
ティーバー^{ティーバー}TVerでプロモーション動画を広告として配信する取り組みにチャレンジしたと
あるが、どのような効果を見込んでいたか。とに対し、
ティーバー^{ティーバー}TVerを活用して配信する広告動画は、見終わるまで飛ばすことができない
ため、その機能を活用し県内在住の20代から30代の方を対象に配信
したものです。視聴回数は9万回を超えており、視聴された方には、本市への
関心や認知度向上に繋がることを期待しています。とのこと。

同項8目、新しい働き方にむけた庁内システム環境整備事業のうち、コピー
の使用枚数削減率について、目標値30%に対し、実績は10%であった
が、今後、目標値を達成することは、可能であると考えているのか。とに対し、
令和4年度は、部課長級職員へのタブレット端末の配布に合わせ、大型

モニターを使用したペーパーレス会議の実施を提案しましたが、十分な浸透には至らず、目標値に結びつかなかったものです。今後、全職員が会議にパソコンを持ち込み、参加できるような環境を整備することにより、コピー枚数を削減することは可能であると考えています。とのこと。

同項 1 1 目、若者市民協働意識醸成事業のうち、対象について、高校生が市民協働や地域貢献について考える機会とあるが、高校生を始めとする若者の協働意識を醸成する取り組みをどのように展開したのか。とに対し、

協働意識を醸成するためには、まずは本事業を継続して実施することが重要であると考えています。市内にある全ての高校での開催に取り組むとともに、対象とする若者の幅を広げることも考えていきます。とのこと。

2 項 2 目、固定資産評価替関連事業のうち、適正課税率について、目標値 1 0 0 % に対し、実績は 9 9 . 8 6 % であったが、どのような改善が必要と考えているのか。とに対し、

適正な課税 1 0 0 % を目指しましたが、担当者間の連携不足やチェックミスなどにより 4 7 件の課税誤りが生じました。職員のヒューマンエラーを無くすため、職場内の連携体制の見直しと、ダブルチェックによる改善に

取り組んでいきます。とのことでした。

次に、駐車場事業特別会計決算について申し上げます。

1 款 1 項 1 目、雁宿駐車場管理運営事業のうち、定期契約者数について、目標値 2 0 0 人に対し、実績は 1 7 2 人とのことだが、どのような取り組みを行ったのか。とに対し、

周辺事業所への個別訪問や新たに知多半田駅前でのビラ配りなどの活動を行い、新たに 2 7 件の契約を行うことができましたが、結果として、目標値に結びつかなかったものです。とのことでした。

以上のような質疑を行った後、討論を省略し、一般会計と 2 件の特別会計を採決しました。

まず、令和 4 年度半田市一般会計の歳入歳出決算のうち、当委員会に分割付託された案件について採決した結果、

委員全員をもって認定することに決定しました。

次に、令和 4 年度半田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算について採決した結果、

委員全員をもって認定することに決定しました。

次に、令和4年度半田市モーターボート競走事業特別会計歳入歳出決算について採決した結果、

委員全員をもって認定することに決定しました。

次に、認定第2号について、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

令和4年度を終え、半田病院の取り組みをどのように評価しているのか。

とに対し、

新たに、医療技術局や経営企画室を設け、各部門の横断的な連携の強化や、戦略的な病院経営を図れたこと、また、職場の満足度向上に向けた取り組みを実践し、職員の休暇取得数が増え、職員の満足度向上に繋がったことなどが評価できると考えています。とのこと。

利益剰余金が増加したことなどにより、預金残高は約78億円に増えたところがあるが、資金についてどのように考えているのか。とに対し、

職員の退職手当引当金や新病院建設工事に係る未払い金などを除くと、資金残高は約27億円です。将来を見据え、必要最低限の資金は

確保できた、と考えています。とのこと。

光熱水費においては、燃料費の高騰により前年より増加しているが、支出を抑える取り組みについて、検討はしたのか。とに対し、

節電、節水に努めましたが、コロナ対策として、換気を最優先とし、窓を開けて、エアコンをフル稼働させたため、結果として、増加したものです。とのこと。

常滑市民病院との経営統合について、新法人の設立に向け、会議や部会を開催したとのことだが、議論は進んでいるのか。とに対し、

両病院にて協議を進め、診療機能分担について決定することができましたが、細部までの対応を決定するまでには至りませんでした。今後も、引き続き、協議を進めていきます。とのこと。

看護師の離職率として、新規採用者の離職率は改善されたが、全体としては増加している。「転職等」や「合わない。」ことを理由に退職した職員がいるが、このことについてどう捉えているか。とに対し、

流動性のある業界であるため、ある程度の転職が生じたり、実際に働いてみて感じる「やりたい看護とのギャップ」が生じることは止む得ない部分もあり、その数自体は「過大」にはなっていないと考えています。とのこと。

医療費未収金対策として、未収金の発生防止に向け、どのように取り組んでいるのか。とに対し、

受診時の納付相談の際など早い時期から、未収金が発生しないように対応しています。また、段階に応じて、裁判所へ支払督促を申立てる等必要な措置を行っており、併せて、居所不明、死亡等により回収不能な未収金については、債権放棄・不納欠損処理をしています。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって認定することに決定しました。

以上、ご報告申し上げます。